

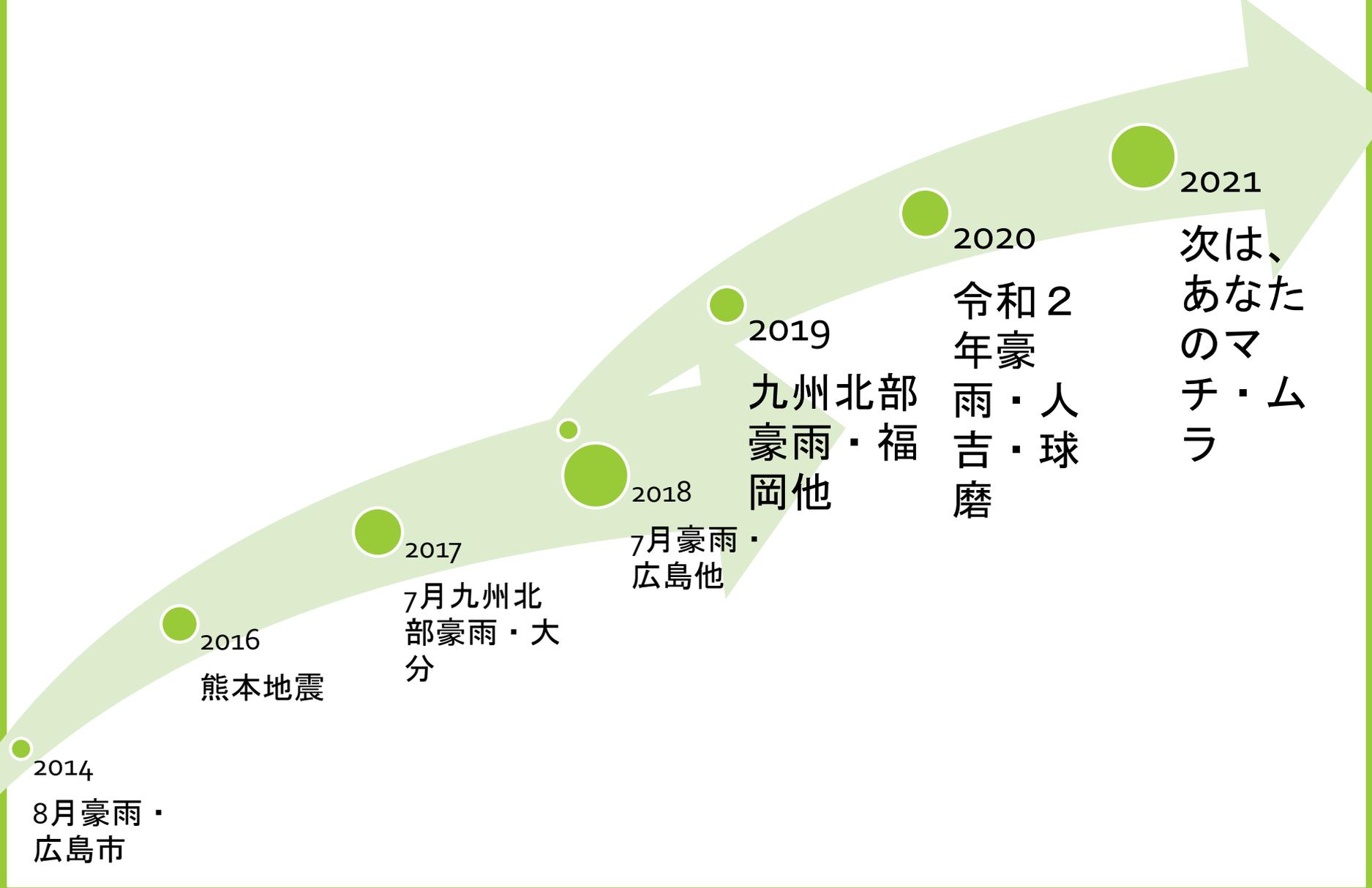
分科会の流れ

- イントロダクション レジリエンスとESD
- 話題提供 その時、被災地・避難所では
小川 聡氏 体験交流施設 さんがうら 施設長
- Q&A&S その1
- 話題提供 ネットワークでの支援
西村 仁志氏 RQ広島 代表
広島修道大学人間環境学部 教授
- Q&A&S その1

この分科会のねらい

- 毎年のように各地で発災する自然災害に対して、自然学校拠点がネットワークして取り組む支援活動から、地域での学びあい・E S Dにつながる地域学習・人材育成の重要性をひも解きます。
- 学びが行動につながる
- 過去の経験、つながり、個人の行動がネットワークを育む

毎年どこかで災害に直面する私たち



令和2年7月豪雨災害の被害状況①

気象概要

7月3日に東シナ海の梅雨前線上に低気圧が発生し4日未明には九州北部地方に進んだ。低気圧の東進に伴って3日夜には梅雨前線が九州北部地方まで北上、低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、九州では大気の状態が非常に不安定となった。

被害概要

<インフラ等被害>

(令和2年8月31日現在)

種別	被災件数		被害額千円
村道	30路線	166箇所	4,326,039
橋梁	8橋梁		10,010,000
河川	17河川	67箇所	491,274
林道	22路線	133箇所	959,000
農地	810箇所	90ha	2,300,000
農業用施設	207箇所		1,774,000

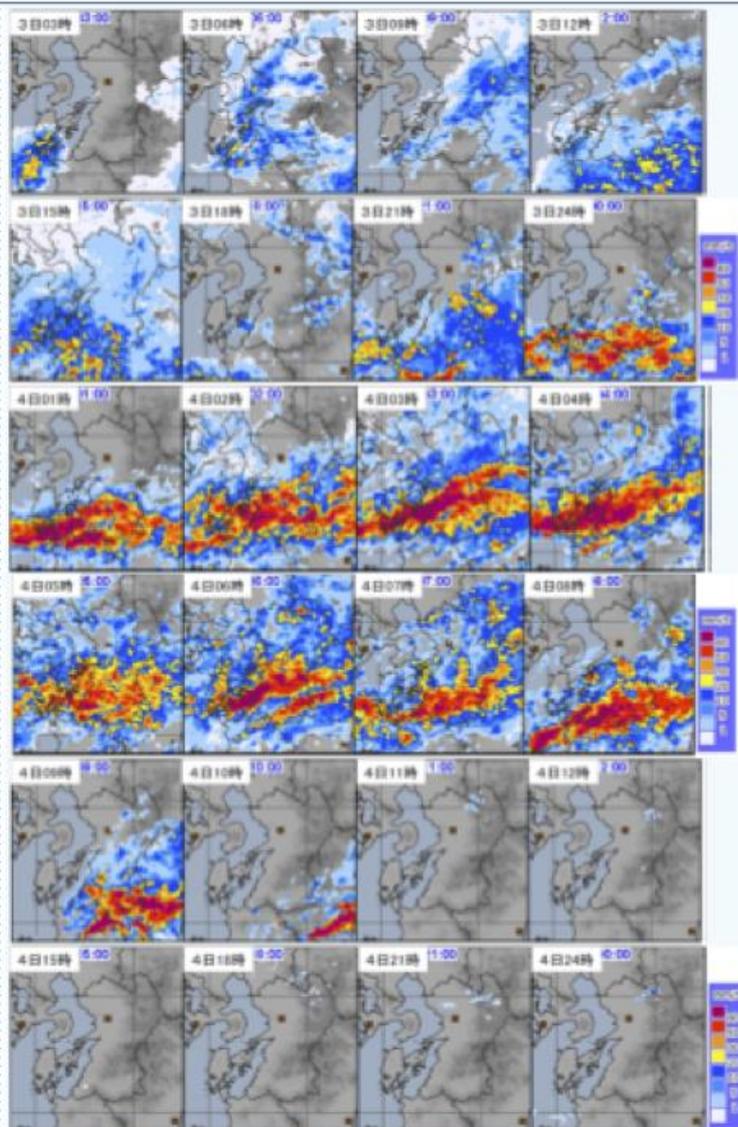
<建物被害>

(令和2年9月28日現在)

全壊	大規模半壊	半壊	準半壊	準半壊に至らない(一部損壊)
339	31	60	1	41

<人的被害>

死者	行方不明者
25	0



気象レーダー画像
(7月4日09時～12時1時間毎、15時～24時3時間毎) 熊本県

令和2年7月豪雨災害の被害状況②

球磨村の位置図および被災状況



(球磨川水系の様子)

令和2年7月豪雨災害の被害状況(渡地区①)

③渡小浸水状況



④千寿園浸水状況



⑤山口地区浸水状況



⑥山口地区浸水状況

①茶屋地区被災状況



②道路橋及びJR橋の被災状況



⑦地下地区被災状況

⑧沖鶴橋被災状況



© 2020 ZENFON

Google

第1回住民アンケート結果について

アンケート概要

○実施時期：8月25日～9月11日

○対象者：球磨村民（15歳以上）

○回答率：56%（対象者数：3,095人、回答者数：1,747人）

※9月30日集計時点

第1回アンケートの趣旨

防災からおよそ2か月が経過した時点での村民の皆さんの思いを尋ねました。

今困ってること、再建に向けた今の思い・ご意見をいただきました。

主な項目の集計結果(全体)

○現在居所

被災前と同じ居所	839
村内の異なる居所	115
村外の居所	687

○避難生活での困りごと

生活情報が不足	645
居住環境が不十分	437
生活再建への不安	388
健康への不安	367

○避難生活改善の施策

情報発信の強化	572
住宅の整備	542
村民の絆の維持	444
健康管理	395

○球磨村に戻りたいか

同じ居所に戻りたい	638
高上、高台等へ //	316
治水対策後に //	78
戻らない	123

○待つことができる期間

1年以内	343
1～2年以内	286
2～3年以内	161
3年以上	142

○必要な施策

生活道路の復旧	1,238
住宅等の整備	821
水道施設等の復旧	693
福祉・医療等の充実	594

○まちづくりで重要な部分

住宅地（高上等）の整備	969
河川管理施設、砂防施設の整備	890
道路等の整備	627
買い物等の利便性向上	338

第1回住民アンケート結果について②

各地区の傾向

渡 (回答数: 793)

- ・回答者のうち、帰村については、何らかの対策（嵩上げ、高台移転、治水）が行われた場合を含めると**90%の方が、帰村希望**
- ・まちづくりに重要な施策については、**住宅地の整備が62%**
- ・**河川管理施設の整備に35%、道路整備については27%の意見が上**がっている

一勝地 (回答数: 392)

- ・回答者のうち、帰村については、何らかの対策（嵩上げ、高台移転、治水）が行われた場合を含めると**91%の方が帰村希望**
- ・まちづくりに重要な施策については、**住宅地の整備が50%**
- ・**道路の整備が37%、砂防施設の整備が26%**上がっており、**買い物等の利便性向上についても24%の意見が上**がっている

三ヶ浦 (回答数: 184)

- ・回答者のうち、帰村については、何らかの対策（嵩上げ、高台移転、治水）が行われた場合を含めると**85%の方が帰村希望**
- ・まちづくりに重要な施策については、**道路の整備が59%、住宅地の整備に50%の意見が上**がっており、**次点で買い物等の利便性向上が27%**となっている

高沢 (回答数: 64)

- ・回答者のうち、帰村については、何らかの対策（嵩上げ、高台移転、治水）が行われた場合を含めると**92%の方が帰村希望**
- ・まちづくりに重要な施策については、**道路の整備が64%、河川管理施設の整備、砂防施設の整備にそれぞれ26%の意見が上**がっている

神瀬 (回答数: 278)

- ・回答者のうち、帰村については、何らかの対策（嵩上げ、高台移転、治水）が行われた場合を含めると**83%の方が帰村希望**
- ・まちづくりに重要な施策については、**住宅地の整備が57%**
- ・**道路の整備に35%、水道施設の整備に26%、河川管理施設の整備に25%の意見が上**がっている

自由記載の抜粋

球磨村全体の道路の整備、橋の復旧を早急に。高齢化のため福祉の向上に努めてほしいし、千寿園のような施設の再建を望みます。

地区再生プランを示してほしい。嵩上げ、区画整理、上下水道等の実施計画が無ければ個人の計画は立てられません。

今回の豪雨では球磨川の氾濫で河川周辺の被害は甚大だったが、山間地の地すべりも忘れてはならない。

復興ビジョンを村民に知らせること。居住問題は早急に取り組まないと、村民は離村してしまう。村から宅地嵩上げや高台移転など早急に明らかにすべき。村民の多くは生まれ育った球磨村から離れたくない。

災害後とにかく情報が少なくテレビ・ネット・新聞・固定電話がなく不安な日々が続いた。ツイッターなどもっと多くのSNSを使ってほしい。高齢者へは災害時お知らせ版の放送をしてほしかった。水道や電気などの復旧が見えるライフラインマップなどがあると分かりやすい。

村に買い物ができる場所がなくなりました。コインランドリーでもあれば助かります。仮設住宅に買い物ができる施設が必要と思います。